

住民説明会での主なご意見等について

高校再編推進室

令和2年6月から7月において、「再編・整備計画【一次】（案）」に係る住民説明会を4地区で開催し、739名（旧第1通学区102名、旧第6通学区252名、旧第8通学区323名、旧第9通学区62名）の参加をいただきました。主なご意見等（アンケート記載含む）について、県教育委員会の考え方は以下のとおりです。

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
再編・整備計画【一次】（案）に関すること<共通事項>		
学 び	<ul style="list-style-type: none"> ・社会は変化し続け既存の価値観では将来を見通せない時代。考えることを大切に知識や能力を発揮できる教育の実現を願う。 ・豊かな価値観を育てる視点を大切にしたい学びの議論をしてほしい。 ・「新たな学び」の実現には、教育予算の増額も必要だと思う。 ・再編に合わせて学びについても改革していく方針は、先駆的で効果的な取組であり、しっかりと進めてほしい。 ・コロナ時代となり学びの在り方について再考したらどうか。 ・「新たな学び」は、教える側の意識変容と学習環境の整備がポイントだと思う。どちらも着実に進めてほしい。 	<p>探究的な学びを推進し、新たな学びへの転換を図ってまいります。</p>
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・15年20年先を見ながらスピード感をもって計画を進めてほしい。 ・今後の人材育成、高校教育のあり方を丁寧に検討してきていると思う。この方向性に基づき積極的に進めてほしい。 ・コロナ禍を踏まえると、教員定数や教育予算の大幅増など財政的な見直しも含めた再検討が必要ではないか。 	<p>「新たな学びの推進」と「新たな高校づくり（再編・整備）」を両輪とした高校改革を着実に進めてまいります。</p>
高 校 づ くり	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなる魅力ある高校にしなければ、発展的統合とは言えないので十分検討してほしい。 ・再編は大きな変化をもたらすので、デメリットにも配慮しつつ子どもたちのためになる再編であってほしい。 ・「教育県」らしい高校再編を期待している。 ・地域が築き守ってきた長野県の教育を大切にしてほしい。 ・再編によって地域に様々な影響が出る懸念もあるが、地域の活性化に繋がる再編であってほしい。 	<p>今後の統合新校の検討に生かしてまいります。</p>
意見の 反映と 周 知	<ul style="list-style-type: none"> ・再編について知らない保護者も多いので、子どもの高校選択に支障がでないよう再編に関して適切な情報提供をしてほしい。 ・保護者へ統合新校のイメージを分かりやすく伝えてほしい。 ・高校入試も新制度になると聞いている。高校改革が進む中、子どもたちが進路選択で混乱しないようわかりやすい説明を期待する。 ・説明会に来ない人も含め、いろんな意見を聞く努力をしてほしい。 ・県教委、首長、同窓会の方々は住民の意見を十分反映させてほしい。 ・再編にあたり密接な関わりを持つ地域の声が高校運営に反映される仕組みの検討を望む。 ・説明会で住民から聞いた意見を実際の再編に生かしてほしい。 ・決定事項として再編を進める他県と異なり、住民の意見を聞く姿勢は良いと思う。 	<p>地域と協働して進める今後の統合新校の検討に生かすとともに、検討状況など丁寧な情報提供に努めてまいります。</p>
中山間地 存 立 校	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地存立校の存続は地域の願いであり大切にしてほしい。 ・中山間地存立校の様々な教育活動は将来に繋がると思うので大切にしてほしい。 ・都市部存立校が重視され中山間地存立校が軽視されているように感じる。中山間地存立校は入学した生徒一人ひとりを大切にしたい教育ができる素晴らしい場だと思う。 ・中山間地存立校の生徒が地域連携の学びを望んでいるのか疑問もある。現実はその多くはないのではないかと思う。 	<p>学びの保障が必要な中山間地存立校においては、その特色を活かし、地域と協働した探究的な学びを展開し、教育活動の充実を図ってまいります。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動はもとより生徒会活動や部活動など、多様な活動ができる高校の配置とそのため環境整備を進めてほしい。 ・高校は「人づくりの場」だと思う。部活動の選択肢も多く、生徒同士で活発な活動がしやすい規模の大きな高校の配置は必要だと思う。 ・地域に根ざした学校を大切にするという視点で配置を考えてほしい。 	<p>立地の特性を活かしながら、それぞれの高校で特長ある新たな学びを推進してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
少人数 学級	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化だからこそ次代を担う素晴らしい後継者を育むために、少人数で余裕をもって学べるようにしてほしい。 ・少人数はメリットとデメリットがあり、子どもにとっては学校の規模も選択肢の一つ。安易な少人数学級化や小規模化には疑問がある。 ・新型コロナウイルス感染症への対策もあり、学校の小規模、少人数化、再編基準の再考も必要ではないかと思う。 ・新型コロナウイルス感染症蔓延を機に 30 人学級実現を願う。県独自のお金の使い方でも教育県を取り戻してほしい。 ・少人数学級と高校再編は別の議論だと思う。高校は義務教育と違うので、学級は 40 人を基本とし、学習集団の少人数編成ができればいいと思う。 	<p>高校では授業等の学習集団と学級等の生活集団を別に考え、学習集団は学級とは別の少人数の集団を編成し、多様な学びの展開や多様な生徒に対応してまいります。</p> <p>また、未来の学校構築事業において、少人数学級のあり方などを研究してまいります。</p>
教員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県は「教育県」だった。高校再編はやむを得ないと思うが、「新たな学び」の実現には教員の資質向上にも配慮すべき。 ・計画実現には優れた教職員の確保が必要だと思われる。教員研修や外部活用を充実してほしい。 	<p>教員研修を高校改革推進の原動力として捉え、取り組んでまいります。</p>
旧第 1 通学区の個別事項に関すること		
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の声や要望等を聞き再編計画に反映させてほしい。時間をかけた検討が必要ではないか。 	<p>今回の計画は「当面の間、現状の高校配置を維持する」としてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域にとっては、農学を学ぶ高校を単独で残すべきだと思う。農林業は生涯をかけてやる仕事であり、高校で早くからプロを育成することは大切である。 ・飯山高校と下井農林高校の生徒が学び合う活動を今後さらに発展させてほしい。 	<p>将来を見据え、地域とともに両校の魅力づくりに努めてまいります。</p>
旧第 6 通学区の個別事項に関すること		
小諸新校	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の小諸高校の「音楽科」の施設はトップレベルだと思う。新校の整備にあたり、是非とも施設・設備の質を確保してほしい。 ・小諸高校、小諸商業高校の統合は両校関係者の理解も充分深められている。一年でも早い実現を願っている。 ・地域の意見を聞くことは重要だが、各人各様の意見に左右され過ぎて時間を無駄遣いすることのないよう計画をしっかりと進めてほしい。 ・小諸商業高校と小諸高校の特徴が融合し、地域に密着した新たな高校を大いに期待している。 	<p>今後の統合新校の検討に生かすとともに、再編・整備計画を着実に進めてまいります。</p>
佐久新校	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びの必要性は理解できるものの、生徒の基礎学力の維持に不安もある。新校での学びのスタイルを聞きたかった。 ・新校の校舎はどのような施設ができるのか、いつ頃どれくらいの規模で開校するのか詳しく聞きたかった。 ・新校の学びのイメージが共有し難い。この地域で大学進学を目指して高校を選択する生徒はどこへ行くべきか判断し難いと思う。 	<p>今後「再編実施計画検討委員会（仮称）」を設け、地域とともに統合新校の在り方を具体的に検討するとともに、その検討状況を丁寧に情報提供してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・新校づくりは新しい視点で進めてほしい。中途半端な再編・新校にならないようにしてほしい。 ・予備校のような進学校をつくるのではなく、生徒が主体的に考え研究していく学びが実現できる新校づくりが大切だと思う。 ・子どもたちの将来のために、ICT化を進めてほしい。地域の将来に繋がる新校を期待している。 	<p>今後の統合新校の検討に生かしてまいります。</p>
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科高校は 1 校にして新設することでもよいのではないかと。野沢北高校・野沢南高校・岩村田高校と地域高校を統合するのも一考。 ・蓼科高校、小海高校、軽井沢高校が毎年定員割れしている現状をみると、都市部の高校はもっと残すべきだと思う。 	<p>都市部存立校と中山間地存立校それぞれの特色を活かした高校改革を着実に進めてまいります。</p>
中高一貫	<ul style="list-style-type: none"> ・県立の中高一貫教育を佐久地域で実現してほしい。 ・中高一貫教育にはメリット・デメリット様々あると思うので、慎重に対応すべきと思う。 	<p>モデル設置した 2 校の検証を深め、更に検討してまいります。</p>

項目	主なご意見等	県教育委員会の考え方
旧第8通学区の個別事項に関すること		
伊那新校	<ul style="list-style-type: none"> 再編の計画はいいと思う。100年超の歴史がある伝統校同士の統合であり、地域の将来のために素晴らしい新校を期待する。 地域の子どもたちを地域で育むという計画となることに期待する。 母校がなくなる寂しさはあるが、将来の子どもたちのためにより環境で学べる新校を願う。 伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校はそれぞれ伝統と良さがあるので、再編統合せずとも新たな学びを行うことは可能だと思う。 新校の目指す学校像を地域で共有できるようにしてほしい。 	今後の統合新校の検討に生かしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 高校配置の考え方は賛同できる。新校となっても頑張る生徒、先生方をこれからも地域としても支援したい。施設整備にも期待している。 	再編・整備計画を着実に進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> どの場所でどんな校舎になるのか、新校について具体的な話を聞きたかった。 	統合新校の検討状況などを丁寧に情報提供してまいります。
総合学科 高 校 ・ 総合技術 高 校	<ul style="list-style-type: none"> 上伊那地域への総合学科高校や総合技術高校の設置を期待している。 幅広い分野から自分の将来を意識して学ぶ総合学科高校や興味を活かしながら新たな分野も学べる総合技術高校は、受験期の子どもたちにとって人生の選択肢が広がる良いことだと思う。 	再編・整備計画を着実に進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科高校、総合技術高校の内容が分かりにくい。 	今後も丁寧に情報提供をしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科高校は生徒が好きな科目だけをとる可能性もあり、キャリア形成に繋がる選択となるために個別指導が必要。 多様な選択ができる総合技術学校では、逆に専門性が薄まるのではないかと心配もある。 	今後の統合新校の検討に生かしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科高校、総合技術高校の卒業生の満足度について、数年経過した評価を知りたい 	卒業生への他調査との均衡を図りつつ、今後検証してまいります。
高校配置	<ul style="list-style-type: none"> 少子化にあっても時代の変化に対応しながら新しい学びの場を創り、上伊那に多様な学びの場が確保されることを期待している。 理念が先行しているように感じ、上伊那をモデルケースとして先行実施することは賛成できない。全旧通学区の地域協議会の意見を見てから再検討してほしい。 他県は大変多様化が進んでいる。是非、上伊那地域が良くなるようにしてほしい。 	「新たな学びの推進」と「新たな高校づくり（再編・整備）」を両輪とした高校改革を着実に進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 伊那新校と総合学科高校の設置により、普通科高校は2校減少することになると思われるが、現在多くの中学生は普通科志望であることから、通学の利便性を考慮した配置をしてほしい。 普通科の定員を減らさないでほしい。 	地域と協働して進める今後の統合新校の検討に生かすとともに、検討状況など丁寧な情報提供に努めてまいります。
意見の 反映と 周 知	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の意見も反映してほしい。 	今後の統合新校の検討において、生徒にも参加いただく予定です。
	<ul style="list-style-type: none"> 上伊那地域の高校再編について多くの人は関心がないというのが現状。地元にも新校の関心を持ってもらえるような動きができればいい。 再編は仕方のないことと思っている。伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校が統合する計画に至った経緯についてもっと聞きたかった。 	統合新校の検討状況などを丁寧に情報提供してまいります。
旧第9通学区の個別事項に関すること		
学 び	<ul style="list-style-type: none"> 他地区の多部制・単位制高校へ進学する生徒もいるため、多様な進学ニーズに沿った内容であり期待できると思う。 	再編・整備計画を着実に進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> リニア新時代を見据えて魅力ある地域づくりと学びの場の構築が必要と思う。 	学びの質の転換を目指す「新たな学び」を推進してまいります。